

## 第22回中央大学学術シンポジウム「検証：失われた10年からの脱却と発展」

中央大学学術シンポジウムは、中央大学の複数の研究所が3年計画で学術的な研究を行うことを目的にした研究です。第22回の学術シンポジウムでは、「失われた10年からの脱却と発展」をテーマに、個別の研究と5回に及ぶシンポジウムを重ねてきました。今回のシンポジウムは第6回目で最終回になります。多数の方にご出席いただきたくご案内する次第です。

テーマは、会計ビッグバン後の問題に焦点を当て、「企業会計制度の動向と課題」としました。失われた10年からようやく脱却し新たな発展の方向へ進み始めたところで、再びサブプライムローンに起因する不況に直面しています。グローバル化の下でわが国の会計基準がどのように変遷してきたか、今後どのような方向に進んでいくのかを検討するため、会計学会の第一人者である3人の研究者をお招きしました。貴重な講演とシンポジウムが期待できることを疑いません。

最終回のシンポジウムを盛会なものにするため、中央大学アカウンティング・フォーラムの後援を得ました。また、シンポジウムの後に懇親会を企画いたしましたので、ぜひ、ご出席いただけます様、ご案内いたします。

第22回中央大学学術シンポジウム研究代表

中央大学企業研究所 石崎 忠司

### シンポジウム (シリーズVI)

#### 「会計ビッグバン後の企業会計制度の動向と課題」

日時 : 2009年1月17日(土) 13時45分~18時10分  
会場 : 中央大学駿河台記念館6階610号室(聴講無料)  
主催 : 企業研究所、経済研究所、日本比較法研究所  
後援 : 中央大学アカウンティング・フォーラム

#### プログラム

13:45~	開 会
主催者挨拶	永井 和之 (中央大学総長・学長)
開会の辞	日高 克平 (中央大学企業研究所所長)
総合司会	梅原 秀継 (中央大学商学部教授)
14:00~16:15	第一部 : 講 演
佐藤 信彦氏 (明治大学大学院会計専門職研究科教授)	
	「日本の会計基準と基本的会計思考の変化」
平松 一夫氏 (関西学院大学商学部教授)	
	「IFRSのアドプションとわが国会計基準をめぐる諸問題」
川北 博氏 (公認会計士・静岡県立大学客員教授)	
	「会計・監査制度の変容の本質と課題」
16:15~16:30	休 憩
16:30~18:00	第二部 : シンポジウム
司会	北村 敬子 (中央大学商学部教授)
ディスカスタント	佐藤 信彦氏 平松 一夫氏 川北 博氏
18:00~	閉 会
閉会の辞	佐藤 元英 (中央大学政策文化総合研究所所長)